

平成28年3月期 第71期 業績概要 第2四半期

桂川電機株式会社

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、円安基調の継続、原油安の影響も相俟って緩やかな回復基調が続いており、一部の企業における設備投資意欲にも好調な業績を背景に増加の兆しが見られましたが、全体的にはいまだ停滞感が出ており、力強さに欠ける状況が続きました。また、中国株式市場の大幅な下落により、わが国の景気への影響が懸念されるなど、先行きの状況は不透明なまま推移いたしました。

世界経済は、米国経済が雇用情勢の改善を背景に拡大基調が続き堅調に推移したものの、欧州金融不安に加え中国経済の減速感が鮮明になり、中国株式市場を発端とした世界同時株安の進行を背景に景気は足踏み状態が続くなど、依然として先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

こうした中、当社グループにおきましては、販売面においては北米市場を中心に注力し、欧州市場の事業収益の改善に向けて販売体制を整備する等の活動を展開、開発及び生産面においては付加価値の高い新製品の開発と原価低減を進めてまいりました。

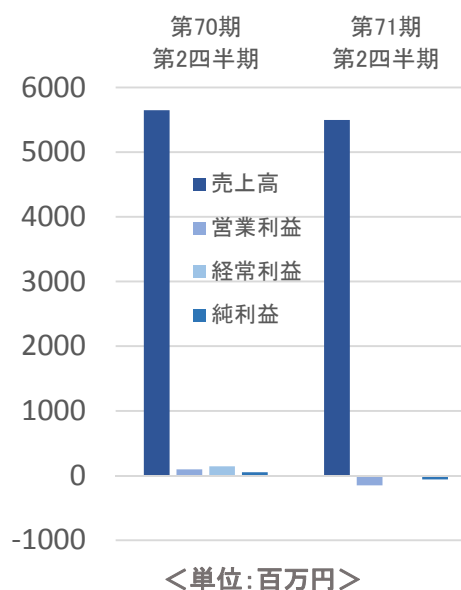
9月に開催のIGAS2015(国際総合印刷機材展)へ、大判型プリンタで長年培った技術と安価で安定した製品の供給を目指した新開発の新世代大判型カラープリンタを出展いたしました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、米国はほぼ順調に推移しましたが、欧州及びアジアでの販売が伸び悩み54億97百万円と前年同四半期の56億49百万円に比べて1億51百万円の減収となりました。営業損益は、売上高の減収に売上原価率の悪化や販売費及び一般管理費の増加が影響して1億51百万円の損失(前年同四半期は95百万円の利益)、経常損益は、為替差益1億46百万円を計上したものの営業損失を吸収できず2百万円の損失(前年同四半期は1億42百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は、61百万円の損失(前年同四半期は2百万円の利益)となりました。

<単位:百万円>

項目	第70期 第2四半期	第71期 第2四半期	前年同期 増減額
売上高	5,649	5,497	△151
営業損益	95	△151	△246
経常損益	142	△2	△144
親会社株主に帰属する四半期純損益	2	△61	△63

連結業績概況



事業別の業績

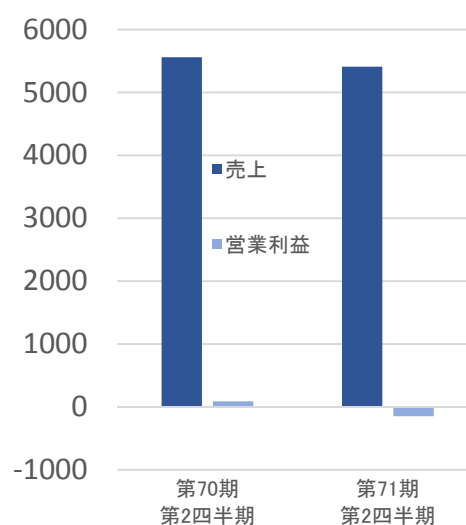
画像情報機器事業

画像情報機器事業の当第2四半期の連結売上高は、前年同四半期に比べて1億50百万円減収の54億11百万円(前年同四半期は55億61百万円)となり、営業損益は、1億46百万円の損失(前年同四半期は90百万円の利益)となりました。

- ・市場競争が一段と激化する中苦戦が続くも、売上高は前年並み
- ・北米市場を中心に注力

<単位:百万円>

	第70期 第2四半期	第71期 第2四半期
売上	5,561	5,411
営業損益	90	△146



2015年9月11日～9月16日、東京ビッグサイト(晴海)にて行われたIGAS2015(国際総合印刷機材展)へ新開発の新世代大判型カラープリンタ「KIP 800シリーズ」を出展、2015年10月1日に発売いたしました。世界で唯一のLED乾式静電方式の一体型A0サイズフルカラー複合機を含めた「KIP 850」「KIP 860」「KIP 870」の3モデル、さらに「KIP 870」とKIPスキャナーを組み合わせたモデル「KIP 880」「KIP 890」の2モデルを加え全5モデルを発売いたしました。



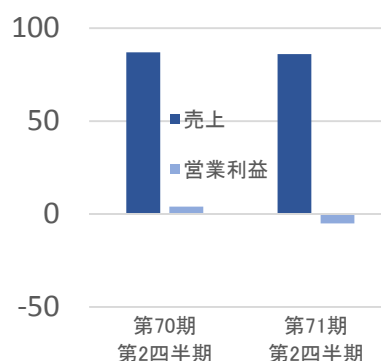
その他事業

その他事業のモーションデバイス事業の当第2四半期の連結売上高は、前年同四半期に比べて1百万円減収の86百万円(前年同四半期は87百万円)となり、営業損益は、5百万円の損失(前年同四半期は4百万円の利益)となりました。

- ・モーションデバイス事業の販路拡大を継続
- ・マイクロモータ等を主体に顧客ニーズをキャッチアップした製品開発・品質向上に注力

<単位:百万円>

	第70期 第2四半期	第71期 第2四半期
売上	87	86
営業損益	4	△5



営業外損益

営業外損益は150百万円の利益となりました。

<単位:百万円>

	第70期 第2四半期	第71期 第2四半期
営業外収益合計	71	177
営業外費用合計	24	27
営業外損益	47	150



※取引通貨レートの数値は、各決算期末日のTTMLレート
【出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティング】

通期の予想

本資料の発表日現在において、当第2四半期の業績は、通期の連結業績予想値から大きく変動しております。当社では入手可能な情報に基づき検討しました結果、為替の影響等を含め、今後も数値は変動することが考えられるため、平成27年5月20日に公表いたしました業績予想値についての変更は行わずに据え置いております。

<単位:百万円>

	第70期 通期予想
売上高	10,500
営業利益	140
経常利益	110
当期純利益	10